

## 平成31年度 事業報告書

### 事業の状況

本年度も公益目的支出計画を確実に実施するため、ローソン、薬局、ドトールコーヒーショップ等の運営収入により財源を確保し、実施事業である「医学に関する研究の奨励及び助成事業」、「患者支援事業」、「学生に対する福利厚生事業」及び「患者等のための食堂事業」を行った。

令和元年10月からの消費税増税への対応として食堂においては、店内飲食の場合は消費税が10%になったことから、店内飲食に限り消費税増税分相当額の増額改定を行い、ドトールやローソンにおいても店内飲食における消費税増税に対応した。また、同時期から始まった消費税増税に伴うプレミアム付商品券事業を各部署で、キャッシュレス・消費者還元事業をローソンで実施し、景気対策事業に対応した。

収益は、ローソン、ドトール及び食堂については、弘前大学医学部附属病院で、新病棟整備計画に基づき、新第一病棟が令和2年1月に着工し、これに関連して連絡通路が減少したこと、令和2年2月末頃から新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として特別な場合を除き入院患者への面会が禁止になったことの影響等により、それぞれ売上が減少した。また、「駐車場等管理業務」については、平成31年3月31日をもって契約が満了となり約3,384万円減少した。薬局については、処方箋が増えたこと、「地域支援体制加算」が年間を通して算定の要件を満たし加算ができたこと等により約2,228万円売上が増加したこと等で経常収益合計では昨年度に比べ約2.6%、約3,296万円減の約12億4,774万円となった。

費用は、自動販売機の設置運営については、これまでの随意契約から期間が平成31年4月1日から5年間の企画競争による契約となり受注することができたが、この業務に当たっては大学に対し新たに手数料の納付が必要となり経費が増加した。人件費については、定期昇給の他、人員確保及び定着率アップのため準職員、パートタイム職員の時間給引上げの実施による増加、職員1名の退職があり不補充としたことによる減少があり合計で減少した。ローソン、ドトール及び食堂の売上の減少に連動して、仕入費が減少した。薬局については、売上の増加に伴う仕入額は増加したが、令和元年10月1日に消費税増税に伴う薬価改定の実施による薬価引き下げ及び交渉による値引率の拡大により、昨年度と比べ約656万円薬品仕入費が減少したこと等で経常費用合計では昨年度に比べ約2.5%、約3,164万円減の約12億6,054万円となり、当期経常増減額は約1,280万円の費用超過となった。なお、経常外費用として、令和元年10月の診療報酬改定により薬価が引下げられたことに伴う棚卸資産評価損等の計上並びに法人税、住

民税及び事業税の合計で約115万円となり、最終的には当期一般正味財産増減額が約1,395万円の減少となった。

平成31年度の主な事業内容は、次のとおりである。

- |  |              |
|--|--------------|
| 1. 医学に関する研究の奨励及び助成事業   | 9,970,000円   |
| ① 弘前大学における医学に関する研究助成   | (3,070,000円) |
| 医学研究科臨床中央研究室への研究助成   |              |
| 医学研究科附属動物実験施設への研究助成  |              |
| 附属病院の診療技術向上に対する助成  |              |
| 附属病院検査部に対する研究助成  |              |
| 弘前大学保健管理センターの成人病の研究に対する助成  |              |
| ② 医学研究科各講座学術集会の主催に対する助成  | (550,000円)   |
| ③ その他、医学振興・医療技術の向上へ寄与する助成  | (6,350,000円) |
| 附属病院の管理運営に対する助成  |              |
| 附属病院看護部に対する研究助成  |              |
| 学生用図書購入に対する助成  |              |
| 2. 患者支援事業  | 1,104,538円   |
| 附属病院内に観葉植物を配置  |              |
| 院内コンサート等の実施に対する協賛  |              |
| 附属病院で行われる七夕納涼祭実施に対する援助他  |              |
| 3. 学生に対する福利厚生事業  | 519,400円     |
| 弘前大学総合文化祭に対する助成  |              |
| 弘前大学のねぶた出陣に対する助成   |              |
| 4. 患者等のための食堂事業においては、患者・家族・見舞客・医療スタッフ・学生等の幅広い利用者に対し、安心・安全な材料を調達に努め、食事の提供した。また、食材の |              |

温度管理の徹底や消毒殺菌効果のある酸性水を使用して清掃を行うなど衛生管理の徹底に努め、今年度も県食品衛生協会から優良施設の表彰を受けた。

#### 5. 病院内及び周辺における患者等に対する小売・サービス業

- イ) ローソンにおいては、当店における売れ筋商品のランキングによる紹介、スタッフの声掛けによる商品情報のアピール、月ごと・季節ごとの棚替えや店頭商品のレイアウトの工夫、当店独自の商品の販売等を行い、お客様の購買意欲を高め、売上アップに努めた。また、弁当類が不足の時は、速やかに店内厨房で調理した惣菜を含む弁当類を販売して、利用者の需要に応えた。
- ロ) 薬局においては、医療安全セミナーや緩和ケアセミナー等に積極的に参加し、スキルアップに努め、「在宅患者訪問薬剤管理指導料」及び「かかりつけ薬剤師指導料」の算定を実施した。また、在宅患者薬剤管理の実績を有していること及びかかりつけ薬剤師指導料等に係る届出を行っていること等も算定の項目となっている「地域支援体制加算」については、平成31年3月から算定を開始し、本年度は年間を通して加算ができた。なお、地域支援として、認知症患者やその疑いがある高齢者が行方不明となった場合、早期発見や保護を目指すことが目的である「弘前市認知症高齢者等ただいまサポート事業」の協力機関として登録した。
- ハ) ドトールコーヒーショップにおいては、効率的でスピーディーな作業に努め、お客様の待ち時間の短縮を図った。また、初荷商品やクリスマス等のキャンペーン商品、ギフト等については、豊富な商品の陳列、商品の種類を増やした陳列等でお客様の購買意欲を高め、手作りのPOP等による商品のアピールを行い、売上アップに努めた。
- ニ) 外商においては、病院からの要望に応え、売上の一部が日本小児がん研究グループに寄付される支援型の飲料自動販売機を増設した。また、自動販売機の衛生用品については、定期的に医療スタッフや納入業者と相談して商品の見直しを行い、お客様に便宜を図った。